

RoboticLite Ver.2.0.2.0 アップデート概要

2015 年 12 月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、RoboticLite Ver.2.0.2.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆ RoboticLite Ver.2.0.2.0 の製品構成は下記の通りです。

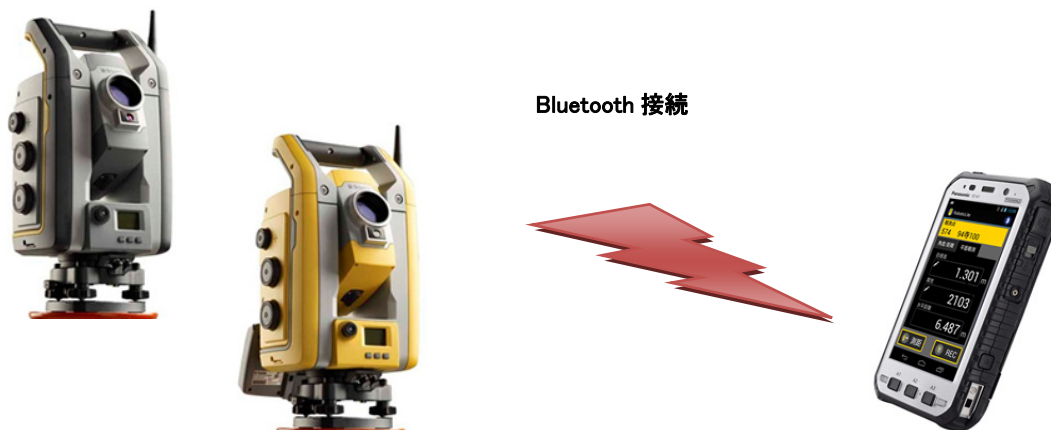
製品名	コード	備考	改良
RoboticLite 基本	B-A1-T00	基本キットに含まれます	Sシリーズ接続など

■ 接続システム追加

◆ 本バージョンから、「Trimble S シリーズ」と接続が可能となりました。

接続可能なバージョンは、下記となります。

- ・efit+ for TCU Version 1.4.1.0 以降
- ・efit+ for S3 Version 1.0.6.0 以降



※S シリーズに装着する Bluetooth アダプタは、現在「SENA 社の Parani-SD1000/Parani-SD1000U」のみです。

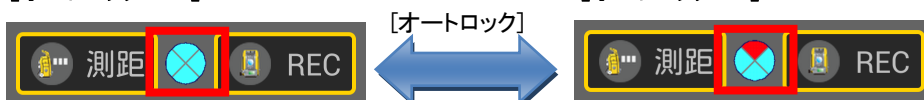
■ オートロックボタン追加

S シリーズ接続時のみ

◆ 「測距」ボタンと「REC」ボタンの間に「オートロック」ボタンを配置し ON/OFF が行えるようになりました。

【オートロック OFF】

【オートロック ON】



◆ オートロックが ON の時、「オートロック」ボタンは、プリズムの捕捉状態を表示します。

【プリズム未捕捉】



【プリズム捕捉中】





■ ショートカットアイコン表示の変更

- ◆測距方法のショートカットアイコンの表示をモードにより反転表示になり、どちらの測距方法が見やすくなりました。

【Sシリーズ接続時】

標準	TRK
	

【M3DRシリーズ接続時】

精密	標準
	

■ 旋回機能追加

Sシリーズ接続時のみ

- ◆Sシリーズの測設使用時、測設点への旋回が行えます。
- ◆測設を開始後、「右へ、左へ」もしくは「残水平角」の表示枠をタップすると機器が測設点へ旋回します。



以上